

著書

1. 『農村の学校給食(日本の農業 - あすへの歩み - ・123)』、126 頁、(財)農政調査委員会、1979 (昭和 54 年). 3
 - 第 1 部 課題へのアプローチ
 - はじめに - 問題の所在 -
 - 米飯給食の先駆 - 千葉県松尾町のパイオニア精神 -
 - 小さな国の大きな試み - 熊本県小国町の完全米飯給食 -
 - 米飯弁当から、「お楽しみ献立」へ - 静岡県豊岡村における学校給食の実践 -
 - 多様な課題の克服、「楽しい給食」への脱皮
 - まとめ - 農村学校給食への提言 -
 - (第 2 部 コメント 足立巳幸、岡田正明、神岡秀夫、小山智士、山路健、吉田喜一郎、127 ~ 157 頁)
2. 『農村生活の構造 - 農家生活リズム論的分析 - 』、193 頁、明文書房、1981 (昭和 56 年). 9
 - 第 1 章 農村生活の理念と特質
 - 第 2 章 農家生活リズムとその把握
 - 第 3 章 農家生活時間の構成と生活リズムの展開
 - 第 4 章 農家労働における生活リズム
 - 第 5 章 農家食生活における生活リズム
3. 中島紀一・川手督也・原珠里と共著
 - 『伝統市と地域社会農業 - 宮城県古川市の八百屋市・日曜市の事例 - (日本の農業 - あすへの歩み - ・179)』、119 頁、農政調査委員会、1991 (平成 3 年). 3
4. 『生活者の創る農とくらし』、296 頁、筑波書房、1993 (平成 5 年). 4
 - 第一部 農と女性・高齢者
 - 1. 女性・高齢者の立場と役割
 - 2. 農村高齢者の現状と地域的対応
 - 3. 高齢者のための稲作組合
 - 4. 高齢者の労働能力開発の課題
 - 第二部 二一世紀型の農村生活像
 - 春の巻・夏の巻・秋の巻・冬の巻
5. 『集落移後の 20 年(日本の農業 - あすへの歩み - ・190)』、96 頁、農政調査委員会、1994 (平成 6 年). 3
 - 第 1 部 課題へのアプローチ
 - はじめに
 - 過疎集落の平坦部への移転 - 高知県安芸郡芸西村の事例 -
 - 開拓集落の再編移転 - 青森県南津軽郡平賀町一本木の事例 -
 - (第 2 部 コメント 長崎勝典、徳野貞雄、小田切徳美、97 ~ 109 頁)
6. 小川全夫・池本良教と共著
 - 『人口高齢化と農村集落の構造変化 - プロダクティブ・エイジング - (日本の農業 - あすへの

歩み - ・203)』、98 頁、農政調査委員会、1997 (平成 9 年). 3
(コメント 木下謙治、平野稔、99 ~ 109 頁)

論文

[1] 単行本所収

1. 「他部門との関連における養蚕労働の分析、酪農と兼業が盛んな畑所における分析 - 埼玉県比企郡菅谷村植木山部落における分析 - 」(菱沼達也編著『養蚕作業の研究 - 農民的養蚕の探求 - 』) 45 ~ 46 頁、198 ~ 205 頁、農山漁村文化協会、1965 (昭和 40 年). 9
2. 「農家生活時間分析の課題と方法」(児玉賀典、君塚正義編『農村生活の現代的課題』) 155 ~ 164 頁、明文書房、1975 (昭和 50 年). 9
3. 「生活様式の変化と村落組織再編」(小野誠志編『地域農業と自治体農政』) 82 ~ 86 頁、明文書房、1975 (昭和 50 年). 10
4. 「第 2 章・農家の献立の移り変わり」(39 ~ 69 頁)
「第 3 章・全国各地における農業食生活の実態・1. ボーリング調査、1) 岡山県真庭郡久世町 (K 農家および M 地区)、2) 滋賀県草津市 S 町 (I 農家および N 集落)、2. 全国各地における農家食生活の実態、20) 和歌山県海南市 O 集落、23) 香川県綾歌郡飯山町 N 集落、24) 高知県吾川郡伊野町 H 地区」72 ~ 117、184 ~ 187、191 ~ 201 頁
「第 4 章・地域の農家の食生活、1. 世羅幸水農園にみる食生活改善の歩み」264 ~ 318 頁
「第 6 章・典型農家におけるユニークな食生活改善」387 ~ 409 頁、(小山賀士編著『農家の食料消費構造の変化に関する調査分析』)(財)食生活研究会、農林統計協会、1977 (昭和 52 年). 12
5. 「地域づくりを目指す普及活動の展開 (* 中川忍子と共著)」(日本農村生活研究会西日本支部編『地域づくりと生活理念 - 農村における生活集団の役割りと普及過程 - 』) 163 ~ 172 頁、明文書房、1978 (昭和 53 年). 10
6. 「梨生産組織の展望によせて加勢川堯と共著)」(山崎正・加勢川堯・久保良雄共編著『農業生産組織とライフサイクル』) 201 ~ 206 頁、明文書房、1979 (昭和 54 年). 10
7. 「学校給食の展開と農業協同組合の役割」(『協同組合奨励研究報告 第六輯』) 333 ~ 354 頁、全国農業協同組合中央会、1980 (昭和 55 年). 8
8. 「地域農業の再編と農村リーダーの育成」(東北農業経営問題研究会編『農業経営の再編課題 - 東北農業を素材に - 』) 90 ~ 98 頁、明文書房、1982 (昭和 57 年). 2
9. 「農村生活の特徴を活かした暮らし方を考える」(吉田喜一郎監修・農林中央金庫調査部研究センター編『地域社会農業 - 商品生産から食べ勘づくりへ - 』) 177 ~ 196 頁、家の光協会、1985 (旧昭和 60 年ラ, 7
10. 「子供の食生活と母親の責任」(河本哲之編『明日の筑波』) 104 ~ 108 頁、(株)STEP、1986 (昭和 61 年). 6
11. 「家計診断の対象となる農家所得 - 家計仕向け可能額の問題 - 」、「家計診断・生活設計システムの活用と普及活動」(宮崎礼子・児島俊弘共編『生活改善型・農家家計診断と長期生活設計

- のシステム』、20～37頁、103～105頁、農林統計協会、1986（昭和61年）。6
12. 「あらためて『自給』を考える」(荷見武敬・鈴木博・根岸久子編『農産物自給運動 - 21世紀を耕す自立へのあゆみ - 』)、31～36頁、御茶の水書房、1986（昭和61年）。8
 13. 「農村高齢者の労働能力」(並木正吉編著『提言・これからの農村高齢化対策』)、71～80頁、農林統計協会、1986（昭和61年）。9
 14. 「農家労働における生活リズム」(千葉喜彦・高橋清久編集『時間生物学ハンドブック』)、479～48頁、朝倉書店、1991（平成3年）。10
 15. 「新しい地域社会への胎動」(速水聖子著『混住社会を創る』、日本の農業・214、72頁へのコメント)、75～80頁、農政調査委員会、2000（平成12年）。3

[2] 学術刊行物

1. 「農家の年間労働配分についての一考察 - 磯辺秀俊著『日本農家労働配分図説』の分析 - 」、総合農学、12巻2号、14～19頁、1964（昭和39年）。11
2. 「肉馬の生産と流通の実態（*菱沼達也・梅原孝と共著）」、総合農学、12巻3号、17～21頁、1965（昭和40年）。3
3. 「成田市農村部の農家の主訴および現状の分析（ ）（*菱沼達也・鈴木達司・長尾栄一・岩見英利・目野省三・榎谷正樹と共著）」、総合農学、13巻1号、19～23頁、1965（昭和40年）。7
4. 「農民の労働の分析」、東京教育大学農学部成田分室報告・第1報、116～132頁、1965（昭和40年）。9
5. 「兼業化と農民の健康（*菱沼達也他と共著）」、農村生活研究、10巻1号、9～15頁、1966（昭和41年）。5
6. 「一部落における生産組織化過程の実験的研究（*菱沼達也他と共著）」、東京教育大学成田分室報告・第3報、1～254頁、1968（昭和43年）。3、〔昭和42年度・科研費研究報告集録・農学編（ ）・試験研究、日本学術振興会、1969（昭和44年）。3〕
7. 「家事労働時間分析の一視点 - 千葉県成田市 - 農家の労働日記(昭和38年～41年)の分析 - 」、農村生活研究、12巻2号、1968（昭和43年）。5
8. 「稲刈作業の労働科学的一考察 - 稲刈作業者の脈拍数の変化について - （森川・武藤純一・武藤昭・鈴木健一・真木肇・菱沼達也）」、農村生活研究、12巻2号、5～11頁、1968（昭和43年）。10
9. 「農家における稲作の型」、東京教育大学農学部成田分室報告・第4報、31～42頁、1969（昭和44年）。3
10. 「経営形態別にみた農家の労働時間の分析（*早川さえ子と共著）」、東京教育大学成田分室報告・第4報、181～192頁、1969（昭和44年）。3
11. 「半湿田・兼業地帯の稲作の弱点（*小山正雄・中島紀一と共著）」、東京教育大学農学部成田分室報告・第5報、45～83頁、1971（昭和46年）。3
12. 「ある老人農家の生活時間」、東京教育大学農学部成田分室報告・第6報、17～51頁、1972（昭和47年）。3
13. 「『生活』をめぐる」、総合農学、24巻3号、1頁、1976（昭和51年）。12

14. 「農家生活構造のリズム論的考察」、中国農業試験場報告C(農業経営部)第22号、35~140頁、1977(昭和52年). 3
15. 「農家における生活リズムの展開 - 『農家生活リズム論』への批判に答える - 」、農村生活研究、21巻2号、5~8頁、1977(昭和52年). 10
16. 「農村生活環境整備の方向と課題」、総合農学、27巻1号、25~33頁、1979(昭和54年). 6
17. 「学校給食の展開と農業協同組合の役割」、総合農学、27巻2号、59~67頁、1979(昭和54年). 12
18. 「村落における諸集団の展開過程(昭和53年度専門別総括検討会議報告・農業経営部門)」、農林水産省東北農業試験場、216~265頁、1980(昭和55年). 1
19. 「営農・生活条件と農村高齢者の役割開発」、農業研究センター(NACR)研究速報、第3号(昭和59年度)16~19頁、1986(昭和61年). 3
20. 「農村高齢者の労働能力と家庭内役割(*村野圭市・川手督也と共著)」、関東東山東海農業経営研究会資料第68号、74~79頁、1986(昭和61年). 9
21. 「営農・生活条件と農村高齢者の役割開発」(NARC論文抄録集、第1号-昭和56年~昭和62年)41頁、農林水産省農業研究センター、1987(昭和62年). 3
22. 「都市近郊自給的農業地域の高齢者就業 - 豊田市松平地区の自営兼業(ガラ紡)を中心として - 」(*村野圭市・大山智子・井関礼子・野呂茂道・川手督也・横沢三夫と共著)農村生活研究、32巻3号、45~50頁、1988(昭和63年). 10
23. 「農村高齢者の現状と地域的対応」(昭和63年度秋季特別研究会討論記録地域農業の再編過程における二つの問題側面 - 農業機械銀行と農村高齢者問題を中心として -)49~65頁、農業総合研究所、1989(平成元年). 3
24. 「農家高齢者の性別にみた労働特性」(*加藤克明・平藤雅之と共著)農村生活研究、33巻2号、7~12頁、1989(平成元年). 6
25. 「秋田県南部平場稲作地帯との複合化・組織化への模索 - 平鹿郡十文字町ニッ橋・下ニッ橋集落調査報告 - 」(友國宏・香月敏孝・田畑保と共著)農総研季報、7、61~82頁、1990(平成2年). 9
26. 「農村高齢者の営農と生活における男女間差異の識別」(加藤克明*・櫻庭英悦と共著)農村生活研究、35巻2号、2~7頁、1991(平成3年). 6
27. 「巻頭言・農村女性の多様な立場と対応」、総合農学、第41巻第1号、1頁、総合農学学会、1994. 3
28. 「青森県における食生活の実態 - 女子中学生と女子高校生の間食摂取を中心として - 」(日景弥生・王小英・小西照子・桜井常夫・佐藤誠剛・太田真奈美・西沢義子と共著)弘前大学教育学部教科教育研究紀要、第25号(通巻第36号)89~94頁、弘前大学教育学部、1997(平成9年). 3
29. 「生活者の創る農とくらし」、宮城学院女流大学生生活科学研究所研究報告、第29巻、37~40頁、1997(平成9年). 3